

## 安全データシート(SDS)

### 1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称: プールボンE-960-F 粉体

種類: 特殊ブレンドフィラー

製造会社

会社名: AGCコーテック株式会社

住所: 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2丁目9番地

担当部門: CSR室 江澤 孝行

電話番号: 03-5217-5104

FAX番号: 03-5280-0028

緊急連絡電話番号: 03-5217-5104

整理番号: 1271559912408

用途: プール塗装用

### 2. 危険有害性の要約

GHS分類:

物理化学的危険性:

健康に対する有害性:

皮膚腐食性/刺激性 : 区分1

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分1

発がん性 : 区分1A

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分1

: 区分3

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分1

環境に対する有害性:

GHSラベル要素:

絵表示シンボル:



注意喚起語:

・ 危険

危険有害性情報:

- ・ 重篤な皮膚の薬傷および眼の損傷
- ・ 重篤な眼の損傷
- ・ 発がんのおそれ
- ・ 呼吸器への刺激のおそれ
- ・ 臓器の障害(呼吸器)
- ・ 長期または反復暴露による臓器の障害(腎臓・呼吸器)

注意書き:

安全対策:

- ・ 使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・ すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
- ・ 粉じん・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。
- ・ 粉じん・ミスト・蒸気・スプレーの吸入を避けること。
- ・ 取扱後は手をよく洗うこと。
- ・ この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- ・ 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- ・ 保護手袋・衣類・保護眼鏡を着用すること。

救急措置:

- ・ 飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
- ・ 皮膚や毛にかかった場合は、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水またはシャワーで洗うこと。
- ・ 吸入した場合、災者を新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・ 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は

- 外すこと。その後も洗浄を続けること。
  - ・ 暴露または暴露の懸念がある場合、医師の診断を受けること。
  - ・ 直ちに医師に連絡すること。
  - ・ 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
  - ・ 気分が悪い時は、医師の診断を受けること。
  - ・ 特別処置が必要。『4.応急処置』を参照。
  - ・ 汚染された衣類を再使用する場合は洗濯すること。
- 保管:
- ・ 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。
  - ・ 施錠して保管すること。
- 廃棄:
- ・ 内容物や容器を廃棄する場合は、法令・条例に従って廃棄すること。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質／混合物の区分:

- ・ 混合物

化学名または一般名:

- ・ セメント系骨材

化学特性(化学式等):

成分及び含有:

成分名	CAS.No.	含有量(%)	安衛法 通知対象	毒劇法	PRTR法
シリカ	14808-60-7	55~65	○		
ポルトランドセメント	65997-15-1	35~45	○		
酸化カルシウム	1305-78-8	1未満	-		

補足説明:

- ・ 成分情報／安衛法通知物質(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)にて記載されている記号の内容は以下の通りとなります。
  - : 既存
  - R3: R6年4月1日以降(施行)
  - R4: R7年4月1日以降(施行予定)
  - R5: R8年4月1日以降(施行予定)
- ・ 成分情報／PRTR法にて末尾に(O)が記載されている番号は2023年4月1日より対象外物質となった旧種類と旧政令番号を表示しています。

### 4. 応急措置

眼に入った場合:

- ・ 速やかに清水で洗眼し、異常があれば眼科医の診断を受ける。

皮膚に付着した場合:

- ・ 速やかに清水で洗浄する

吸入した場合:

- ・ 空気の新鮮な場所に移し、水または温水でうがいさせる。異常があれば医療処置を受ける。

飲み込んだ場合:

- ・ 大量に飲み込んだ場合は、大量の水を飲ませて吐かせる。異常があれば医療措置を受ける。

### 5. 火災時の措置

適切な消火剤:水、二酸化炭素、泡、粉末、乾燥砂

使ってはならない消火剤:特になし

消火方法:

- ・ 本製品は無機物であり、燃焼の危険は少ない。
- ・ 火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して風上から消火する。
- ・ 消火作業従事者は適切な保護具を着用する。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:

- ・ 大規模な回収作業時には、保護眼鏡、保護手袋、長靴、防塵マスク等を着用する。

環境に対する注意事項:

- ・ 河川等に直接流出しないように対策を取る。

封じ込め及び浄化の方法及び機材:

- ・ 漏出した場合、スコップ等で集め、紙袋などに回収する。

---

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い:

- ・ 必要に応じて保護眼鏡, 保護マスク, 保護手袋を使用する。取扱い後は、手洗いおよびうがいを充分に行なう。

保管:

- ・ 水漏れに注意し、品質低下を防ぐため高温・多湿の場所は避けて保管する。

---

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策:

- ・ 特に必要なし。

保護具:

呼吸用保護具:

- ・ 必要に応じて防塵マスクを着用する。

保護眼鏡:

- ・ 必要に応じて保護眼鏡・ゴーグルを着用する。

保護手袋:

- ・ 必要に応じて手袋を着用する。

保護衣:

- ・ 長袖作業衣等を着用する。

---

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 粒体(粒体/粉末)
色	: 灰色
臭い	: なし
融点/凝固点	: 情報を有していない
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: 情報を有していない
可燃性	: 情報を有していない
爆発下限界および爆発上限界/可燃限界	: 情報を有していない
引火点	: なし
自然発火点	: 情報を有していない
分解温度	: 情報を有していない
pH	: 情報を有していない
動粘性率	: 情報を有していない
溶解性	
水	: 不溶
n-オクタノール/水分係数	: 情報を有していない
蒸気圧	: 情報を有していない
密度及び/又は相対密度	: 情報を有していない
相対ガス密度	: 情報を有していない
粒子特性	: 情報を有していない

---

10. 安定性及び反応性

反応性:

- ・ 通常の実験条件では反応性はない。

化学的安定性:

- ・ 通常の実験条件では安定。

危険有害反応可能性:

- ・ 通常の実験条件では危険有害反応を起こさない。

避けるべき条件:

- ・ 特になし

混触危険物質:

- ・ 特になし

危険有害な分解性生成成分:

- ・ 知見なし

---

## 11. 有害性情報

### 急性毒性:

- 経口: 混合物の急性毒性データが不十分のため、分類できない。
- 経皮: 混合物の急性毒性データが不十分のため、分類できない。
- 気体: 本製品は常温で液体のため分類対象外。
- 蒸気: 混合物の急性毒性データが不十分のため、分類できない。

### 皮膚腐食性/刺激性:

- 混合物の、皮膚腐食性区分1に該当する成分濃度が5%以上あるため、区分1に相当。

### 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性:

- 混合物の、皮膚腐食性または眼に対する重篤な損傷性区分1に該当する成分濃度が3%以上あるため、区分1に相当。

### 呼吸器感作性:

- 混合物の呼吸器感作性データが不十分のため、分類できない。

### 皮膚感作性:

- 混合物の皮膚感作性データが不十分のため、分類できない。

### 生殖細胞変異原性:

- 混合物の、生殖細胞変異原性区分2以上に該当する成分濃度は0.1%未満。

### 発がん性:

- 混合物の、発がん性区分1Aに該当する成分濃度が0.1%以上あるため、区分1Aに相当。

### 生殖毒性:

- 混合物の、生殖毒性区分2以上に該当する成分濃度は0.3%未満。

### 特定標的臓器毒性(単回ばく露):

- 混合物の、特定標的臓器毒性(単回ばく露)区分1に該当する成分濃度が10%以上あるため、区分1に相当。

### 特定標的臓器毒性(反復ばく露):

- 混合物の、特定標的臓器毒性(反復ばく露)区分1に該当する成分濃度が10%以上あるため、区分1に相当。

### 誤えん有害性:

- 混合物の誤えん有害性データが不十分のため、分類できない。

### 刺激性(皮膚、眼):

- ・ 長時間皮膚に付着した状態では皮膚の過敏な人、アレルギー体質の人については軽度の炎症を起こすことがある。

---

## 12. 環境影響情報

### 水生環境有害性 短期(急性):

- 混合物として、GHS判定上分類できない。

### 水生環境有害性 長期(慢性):

- 混合物として、GHS判定上分類できない。

### 生態毒性:

- データなし

### 残留性・分解性:

- データなし

### 生態蓄積性:

- データなし

### 土壤中の移動性:

- データなし

### オゾン層への有害性:

- モントリオール議定書の附属書に記載される物質成分はない。

---

## 13. 廃棄上の注意

### 残余廃棄物:

- ・ 一般的な土石と同様の措置をとる。廃棄処理業者に委託することが好ましい。  
地方条例あるいは国の法律に従い廃棄する。

### 汚染容器・包装

- ・ データなし

---

## 14. 輸送上の注意

国連番号:非該当

品名:

国連分類:なし

容器等級:

- ・「取扱い及び保管上の注意」の項に記載による他、引火性の強い有害な液体に関する一般的な注意による。
- ・その他、消防法、船舶安全法等の法令に定める所に従う。
- ・容器に漏れのない事を確かめ、転倒、落下、破損がないように、積み込み荷崩れの防止を確実に行う。

## 15. 適用法令

消防法:

非該当

毒物劇物取締法

非該当

労働安全衛生法

- ・がん原生物質(労働安全衛生規則第577条の2第3項)

物質名

CASNO

シリカ

14808-60-7

- ・57条名称表示対象物質
- ・57条の2通知対象物質

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

非該当

## 16. その他の情報

引用文献

- |   |            |
|---|------------|
| ・14102の化学商品                                 | 化学工業日報社    |
| ・化学物質の危険、有害便覧                               | 中央労働災害防止協会 |
| ・知っておきたい職場の化学物質                             | 中央労働災害防止協会 |
| ・GHS対応による混合物(化学物質)のMSDS作成<br>手法の研修テキスト(改訂版) | 中央労働災害防止協会 |
| ・製品安全データシートの作成指針                            | 日本化学工業協会   |
| ・エポキシ樹脂・硬化剤正しい取扱いの手引き                       | エポキシ樹脂技術協会 |

その他

- ・このSDSは、当社の製品を適正にご使用戴くために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の実施を前提としたものです。
- ・記載内容は、現時点で入手した資料、情報データに基づき作成しておりますが、危険、有害性に関する評価は、必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意してください。
- ・このSDSは、法令の改正、新しい知見により、予告なく改訂することがあります。
- ・このSDSは、国の規制を含む(社)日本塗料工業会の基準に基づくものでありますが、地方自治体の規制情報は含まれていないので、当該自治体の規制に従って対処してください。
- ・危険有害成分の濃度(%)表示の幅記載は「以上～未満」をい示しています。
- ・PRTR該当物質については、1, 2種は1%以上、特定1種0.1%以上の場合に対象となります。
- ・PRTR2種については、国(事業所管轄大臣)への報告は不要です。
- ・2項危険有害性の要約のGHS分類で区分の記載がない危険有害性項目については「区分に該当しない」又は「分類できない」に該当します。